

臨床情報の研究利用に関するお願い

この度、当院では「認知症ケアの向上に資する事例の収集と共有」の研究についてオプトアウトにて実施いたします。当該研究は院長の許可を受けて実施しています。つきましては以下の研究へのご理解・ご協力をお願いいたします。

【題名】

病院における認知症ケア実践を可視化する「認知症ケア新聞」

【研究機関】

天本病院

【背景・目的】

当院には認知症支援の基本方針を具現化する取り組みがあります。しかしながら、同じ施設内でも通常業務だけでは他病棟のケア実践を知る機会がありません。理念とケア実践を結び付けた認知症ケアの実践を情報共有する仕組みが、他の事例にも応用し認知症対応力向上の有効であると示すことを目的としております。

【方法】

2018 年 4 月から 2024 年 11 月までに当院で認知症および認知機能低下のある患者を対象に、対象者の傷病名、検査又は測定の結果、認知機能低下に関連する症状、支援者が実施したケアの内容、対象者の反応、その他健康に関する情報などをカルテ上で調査します。

【患者さんへの不利益】

情報集積時に加工するため、個人が特定されることはありません。対象者に不利益が生じる事はありません。またこの研究を拒否される場合も不利益が生じる事はありません。

【本研究の情報公開について】

研究内容は日本認知症ケア学会への報告もしくは関連誌への投稿を予定します。

【個人情報等の取り扱い】

診療記録から収集したデータは、特定の個人を判別できる情報を含む可能性があるため、個人を特定できないように処理を行います。データは研究責任者が自身の鍵付き机に保管し、責任をもって管理します。自施設外にデータや個人を直ちに判別できる情報は持ち出しません。収集したデータをもとに本研究の結果がまとめられ、学会に発表する場合、研究対象者の個人を直ちに判別できる情報は含みません。記録は5年間保管します。それ以降は破棄します。

【利益相反】

開示すべき利益相反はありません。

【問い合わせ先】

情報の提供を希望されない場合、本研究に関する情報公開を求める場合は下記までご連絡ください。

天本病院 地域認知症支援センター

電話：042-310-0333（代表）

研究責任者：曾谷真由美（そたにまゆみ）